

勝高同窓会報

2015年10月
第25号

昭和40年代頃



平成27年撮影



勝山高校の
航空写真

ご挨拶

関西勝高会会長 安居早苗



関西勝高会は、昭和五十八年九月四日にホテル日航大阪において、昭和二十五年卒の笠松良一会長のもと第一回が開催されました。平成九年九月二十八日に帝国ホテル大阪で、昭和三十年卒の山崎彰三会長のもと第四回が開催された後、十八年間開催されておりました。勝山高校同窓会本部の阿部会長から関西の同窓会の開催を要望され、関西勝高会の近藤会長より私に関西勝高会の会長になってほしいと言われました。

私も以前から、勝山高校を卒業して関西に移り住み、故郷の思い出や、高校時代の青春の思い出等を皆様と語り合える場が必要であると思っておりましたので会長を引き受けさせていただきました。本日の同窓会の開催にあたりまして、本部の阿部会長はじめ地元の役員の皆様には名簿の整理などで大変お世話になりました。又、久保実行委員長始め関係者の皆様には暑い中ご協力頂きましたことに対しまして厚くお礼を申し上げます。

関西勝高会の今後について、開催の時期や広告収入等での会費の減額、楽しい同窓会の運営等を検討していただき、さらに多くの皆様のご出席いただける方策を考えていきたいと思っております。今後ともご協力、ご支援を賜りますようお願いいたします。



「若い世代に頑張ってもらいたい」と話しておられました。昭和三十三年卒の上溝さんは、

ホテルグランビア大阪にて、第五回関西勝高会総会、並びに懇親会が盛大に開催されました。実に十八年ぶりのことです。松下一栄氏の司会のもとスタートした総会・懇親会は、安居関西勝高会会長、山岸勝山市長、山田勝山高校教頭、阿部勝高同窓会会長、近藤関西勝山会会長の挨拶、乾杯と続きました。出席者全員での校歌斉唱は、はつらつと一斉に歌われるその声に、全員が感動している様子でした。そして約九十名の出席者の皆様は終始にこやかで、久しぶりの再会にとっても嬉しそうでした。実行委員長の久保佳巳氏をはじめ、実行委員の皆様には、開催までの苦勞がむくわれたのではないでしょう。懇親会の間、今後の関西勝高会について、数人の方にインタビューさせていただきました。



ほしい、最近の名簿の管理、発送などの事務局でしていただけるので負担が少なくて、呼びかけられまし

た。昭和三十六年卒の辻本さんは、十八年前までの総会開催のために学年ごとに委員を選出し、何回も会合をし、たくさん参加してもらえようように自分の学年は責任をもって呼びかけ、当時仕事(学校の教員)もあり大変だった分達成感もあり、思いついたことを話してくださいました。他に「参加して良かった、楽しい」という声が多く聞かれ、今後は、若い人にもどんどん来てもらえよう。な同窓会にすることを多く聞くことができました。「たとえ学んだ時代は



このたびの関西勝高会、十八年ぶりの復活開催に対し心よりお祝い申し上げます。この開催には、「関西勝高会」の近藤会長を中心に、多くの理事役員の皆様の真剣なるお力添えがあり開催に至りました。ありがとうございます。また、関西勝高会に新しく就任されました安居会長、久保事務局長、そして理事役員の皆様、本当にご苦勞様でした。今後は、同窓会本部を中心に、東京勝高会、関西勝高会が一体となり、益々発展されます事を心より願っております。

御礼

勝山高学校同窓会 会長 阿部光郎

違って、同じ学校出身というだけで深いつながりを感じます」という言葉が印象に残りました。関西にお住まいの皆様、是非一度出席してみてください。ほっとできる時間が同窓会にはあるような気がします。





加藤ひとみさん
(平成2年卒業)



田中 大輔さん
(平成16年卒業)



坂 桂美彦さん
(平成14年卒業)



森石 義浩さん
(平成元年卒業)

(司会)



和田 早苗さん
(昭和56年卒業)



吉岡 秀幸さん
(昭和60年卒業)



(山口茜さんのインタビュー)

森石 先輩としてどのように思われていますか？

和田 茜ちゃんが、次ほどのような試合をするのが気にすることが楽しみなっています。

吉岡 テニスの錦織選手と同じような舞台に立っているのに、取り上げられ方に差があり残念です。

加藤 ただただ、すごいなあとと思っていつも観ています。

田中 本場で、実際に試合を観たことはありますが迫力満点です。

坂 茜ちゃんは世界で戦える選手になりましたが、ぜんぜん自慢しないですね。支えてくれる方々への感謝の気持ちを持っていることがすごいなと思います。

(バドミントンの思い出など)

森石 バドミントンは現在も続いていますか。また、思い出があればお願いします。



吉岡 茜ちゃんが小学校四年生か五年生の時に一緒に練習をしたときですら、勝つか負けるかでした。

和田 美容と健康のために、今も続けています。(笑)

加藤 私も同様、スポ少で子どもと一緒に続けています。

吉岡 他の部活と交代で体育館を使用していましたが、我が部のインターハイ出場が決まったときは、無理やり体育館を使い、他の部と喧嘩をしたこともあります。(笑)

(勝山市新体育館への想い)

森石 現在、新体育館を建設中ですが、寄せる想いがあればどうぞ。

田中 運営など大変ですが、大規模大会を誘致してほしいです。

加藤 実業団の試合を観てみたいです。高校生の時に県外で実業団の試合を観戦して刺激を受けた記憶があります。

吉岡 僕らの当時の体育館は天井が低

山口 茜さんに インタビューしました。



優勝トロフィーを手に、満面の笑みで喜びを表す山口選手

Q バドミントン（以下、バド）以外への興味は？

A 世界一周旅行です

Q 高校生活の楽しみ方は？

A 友達とドラマやゲーム、漫画、部活など、たくさんおしゃべりすることです

Q 勝山高校で良かったと思うことは？

A 周りが温かく応援し、気をかけてくれます

Q 今後の夢や希望は？

A 元気にバドを続け、応援される方々に明るい話題をお届けしたい

Q バドで自分にプラスになったことは？

A 友達がたくさんでき、視野が広がりました

Q テレビ取材など、バド以外の活動は？

A あまり得意ではないですが、バドや自分を知ってもらう機会なので、精一杯取り組みたいです

Q 世界で注目研究され、どう立ち向かう？

A 楽しむことを忘れないでいたい

Q 今後の抱負を一言では？

A 挑戦です

Q 勝高同窓生のみなさんにメッセージを

A いつも応援ありがとうございます。これからも自分らしくバドを楽しんでいきます。

（バドミントン部への期待）

く、練習ではハイクリアという球種は打ってませんでした。立派な体育館ができて、もっとオリンピック選手が勝山からできて欲しいですね。

和田 年代は離れていても、バドミントンを通じて縦の繋がりが、私には大変ありがたいです。バドミントンを勝山でできて良かったと、この年になって感じます。

坂 今の高校生には結果だけでなく、周りから「あの子がんばっているね」と思われるくらい頑張っていると思います。また、感謝の気持ちも持つてほしいです。

吉岡 世代は違いますが、繋がりを感じています。バドミントン技術だけでなく、挨拶や社会のマナーなども育ってほしいと思います。

田中 私にとってバドミントン部時代は、社会のマナーを教わった時期でもありました。その伝統を受け継いでほしいです。

（山口茜選手に一言）

加藤 辛い練習や合宿に耐えて、それでも辞めずに続けられたことが、今の職場に活かされています。

和田 常に体調を整えて、けがの無いように、オリンピックレースに臨んでください。

吉岡 抱負を一言で表すとすれば、挑戦「南部ジュニアの旗」です。

坂 今までどおり、笑顔が輝くプレーを期待しています。

加藤 体を大事にして、楽しくプレーしてください。

田中 やはり、体に気を付けてバドミントンをやって欲しいです。

森石 今日は、山口茜さんにまつわる対談にお越しいただき、ありがとうございます。



平成二十七年 大同窓会総会

ご挨拶

勝山高等学校同窓会 会長 阿部 光郎
(第二十二回 昭和四十五年卒)

同窓会会員の皆様には、益々ご健勝で、ご活躍のこととお慶び申し上げます。

また、日頃より同会運営にご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、先般八月十五日に開催されました平成二十七年年度大同窓会総会において、我々理事役員十五名は、引き続き同会を運営させていただく事になりました。

同窓会設立後六十七年、会員数一万九千余名、この歴史と伝統ある同会を維持・継続し、次の世代へ引き継ぐことが大切です。

その為にも、今までの事業を継承しつつ、新たな取り組みが必要なかもしれません。

そのような中、関西勝高会が何と十八年ぶりに復活開催致しました。

すでに、関東方面では、東京勝高会が活発に活動しており、ようやく両翼が揃いました。

次なる目標は、東海方面での勝高会の設立です。これによって、同窓会本来の目的である会員相互の交流と親睦が、国内の各地各方面において開催される事を切に願っております。

平成26年度 決算報告

収入の部

項	目	平成26年度決算
前年度繰越金		2,790,681
入会費		735,000
同窓会会報協力金		941,200
大同窓会余剰金等		46,719
銀行受取利子		1,290
合	計	4,514,890

支出の部

項	目	平成26年度決算
同窓会報		
会報発送宛名ラベル		24,745
会報・協力金FAX印刷		596,160
発送作業業務委託費		50,000
郵送料		657,780
同窓会会報誌座談会経費		16,656
小	計	1,345,341
大同窓会実行委員会事務費		45,238
同窓会名簿更新作業		104,490
寄付金(勝高)		200,000
卒業証書筒		45,360
事務委託		120,000
事務局事務消耗品・通信費		22,756
払込手数料		33,402
雑費		74,480
同窓会基金積		433,116
合	計	2,424,183

勝高同窓会は部活動の援助として 本年度も勝山高校に対して 金20万円を寄付させていただきました。



さる平成27年7月7日に、阿部会長、木下副会長が勝山高校を訪問し、笹岡校長に部活動の援助費用として金20万円をお渡ししました。

この事業は今年で6回目を迎えますが、スキー

部・バドミントン部をはじめ各部で有効に活用されてきています。これも、ひとえに会員皆様からご協力頂いております「会報協力金」のおかげであり、深く感謝申し上げます。

今後も勝山高校の更なる活躍の為に、この事業を通して支援してまいりますので、皆様方の多大なるご支援・ご協力を宜しくお願い申し上げます。

勝山高等学校 同窓会役員

役職	氏名	卒業年度	役職	氏名	卒業年度
会長	阿部 光郎	S45	常任理事	三屋 久美	H2
副会長	木下 克則	51	〃	坂 峰太郎	4
〃	山岸登美子	55	〃	小山 康之	6
〃	白木 利明	56	〃	柳原 直人	8
会計	竹内 登	50	監事・事務局	鈴木 武彦	勝高教諭
会計監査	荒井由紀夫	45	〃	宇田 康二	〃
〃	木下 朋美	61	顧問	松村 龍二	S31
常任理事	永井 正美	50	〃	山岸 正裕	39
〃	中山 弘之	51	〃	小泉信太郎	39
〃	大道真知子	51	〃	笹岡 俊男	勝高校長
〃	森石 義浩	H1			

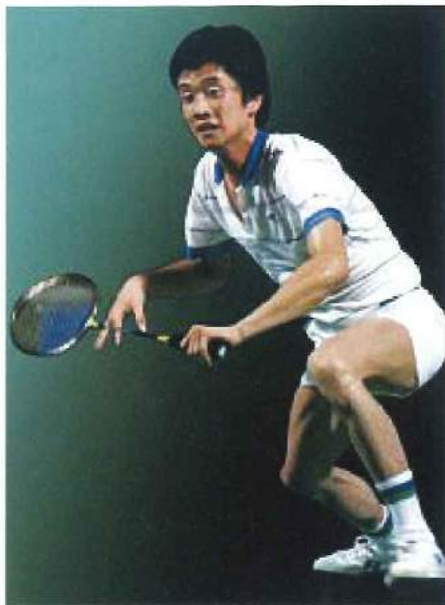


ふるさとに寄せて

長谷川 博 幸氏 (昭和50年卒)



早いもので勝山を離れて四十年！
今はヒーローズカップの為、最低
年に一回は勝山に帰ってきます。後
は冠婚葬祭の（葬）があるときも。
小学生から初めたバドミントンが
私の人生のベースになっているのは
事実です。
勝山中学（今はなき）、勝山高校
と活躍出来たのも、先輩や先生のお
かけであるのは勿論、勝山という土
地柄が私に合っていたのかも。私の
実家は、勝山高校のすぐ近くにあ
り、長山公園や雁が原スキー場へ
は、よくランニングに行った記憶が
あります。
そして、何よりも東京と違って、遊
ぶ所がない！これに尽きる！澄みきつ
た青空、美味しい空気、誰もが実感し
ていると思うのは、私だけでしょう
か？



勝高時代の長谷川さんの勇姿

帰省の際には、長山公園で散歩も
しくはランニングが当たり前になっ
ています。ただし、熊が出る時期な
どはちよっと心配、昔はこういう事
はなかったのに...。
現在は山口茜選手の活躍により東
京でも皆から勝山、勝山と言われる
ようになって大変嬉しく思っている
のは私だけではありません。
三年後の福井国体のバドミントン
開催地勝山市での活躍を期待すると
共に市のアピール、繁栄に繋がれば
と思っています。

勝山 Fight

プ ロ フ ィ ー ル

1957年1月19日生まれ、57歳。芳野町出身。

1972年4月、勝山高校に入学し、インターハイなどで活躍。

その後、中央大学に進学し、インカレなどで活躍。大学卒業後、ヨネックス(株)に入社し、国内・国際大会などで活躍。特に、全日本総合バドミントン選手権大会では、男子シングルスなどで優勝を重ねた。現役引退後は、全日本ナショナルチームコーチ、バルセロナ五輪男女総合コーチ、ナショナルチームBコーチなどを歴任し、現在は日本バドミントン協会ジュニア強化部ヘッドコーチとして活躍。

平成27年度 大同窓会

平成27年8月15日(土)



実行委員長
村上浩治
(第40回 昭和63年卒)



勝山市教育会館において山岸勝山市長、松井福井県会議員をはじめとする来賓にご臨席いただき盛大に開催されました。

今回で17回を数える大同窓会の第1回、7回の開催も経験していましたが、企画段階でここまで続くとは正直思ってもみませんでした。これもひとえに歴代の勝山高校同窓会役員の方々、勝山高校の先生方、そして実行委員会の方々のご尽力の賜物と感謝しております。

今回は実行委員長としての開催となり、私のようなものがこの様な大役を務められるか不安でたまりませんでした。実際になにもできませんでしたが実行委員会の方々、先生方そしてもう一人の実行委員長の畑中氏により無事に開催出来たことに改めてお礼申し上げます。

さて、当日はといいますと同窓会総会の後、大ホールで懇親会を催しましたが、それに先立ち今年度は、去る8月のコンクールで金賞に輝いた勝山高校吹奏楽部の演奏が披露されました。北陸吹奏楽コンクールで演奏した曲をはじめ4曲の演奏を聴き後輩たちの頼もしさを感じるとともに、自分も吹奏楽を経験していたせいか高校時代にタイムスリップしたような感覚になりました。その後、ご来賓のあいさつを頂き乾杯ののち懇親会が始まり終始和やかな雰囲気の中、久しぶりの再会に話も弾み、あっという間に2時間が過ぎてしまいました。

今回は、東京勝高会に続き関西勝高会も立ち上がり、会長の安居早苗氏と事務局長の久保佳巳氏両氏にも参加頂き、会長からは勝山高校に対する熱い思いをお聞きすることができました。

恒例の抽選会も企業、個人の方々からの提供を頂き会場も盛り上がりました。景品を提供いただきました皆様にはこの場をお借りして心よりお礼申し上げます。ありがとうございました。

最後は恒例の勝山高校校歌も4番まで歌い、関西勝高会の久保事務局長の万歳三唱でお開きとなりました。インターハイでの山口茜さんの前人未到の個人3連覇!! 山口茜・鈴木咲貴ペアのダブルス準優勝、女子団体3位という輝かしい成績も話題になりました。後日ですが、私の同期の今井彰宏監督がいる日本リーグ1部の再春館製薬所(熊本県)入りの意向が報じられたことも、勝高あつての事と思うのは私だけではないと思います。

この勝高大同窓会のように自分のクラスだけでなく、全クラスと会える同窓会という場は、卒業から25年以上経つ私たちには新鮮でした。次回はもっと多くの人と再会したいと思います。この会でいろいろな人と接し応援いただき改めて人の繋がりの大切さと喜びを痛感した1日になりました。

参加していただいた方々のご協力いただいた方々、本当にありがとうございました。

